

AIP 社会の実現へ向けた取組みにおける アンケート業務支援システム

キーワード：AIP 社会 業務支援システム QR コード

名古屋工業大学 岩田研究室 B4 井上 航

研究の 背景・目的

近年急速に、在宅医療・看護・介護サービスの利用者が増加しており、住み慣れた自宅での療養・介護への高齢者のニーズが高まっている。そのためには、質の高いAIP（エイジング・イン・プレイス：高齢期になっても住み慣れた地域・自宅で暮らす）社会を実現する必要がある。

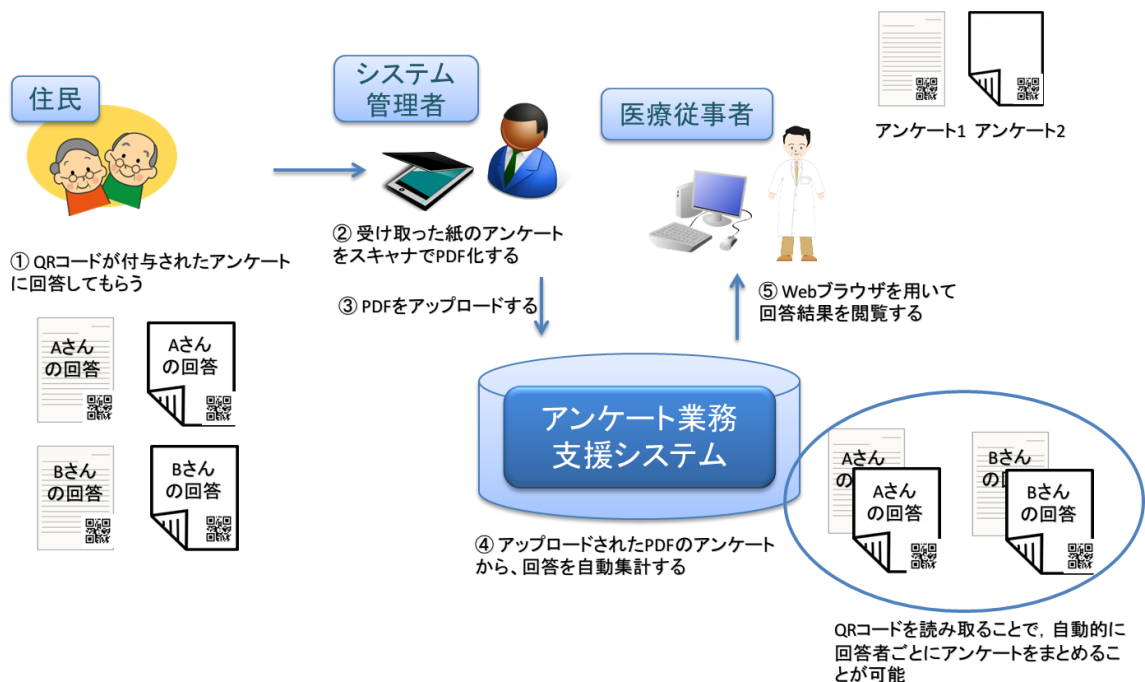
文部科学省の未来医療研究人材養成拠点形成事業“地域と育む未来医療人「なごやかモデル」”では、質の高いAIP社会実現へ向けた取組みを行う。そこで、まず対象地域コミュニティにおけるAIP状況を把握するため住民の事前調査が必要である。

課題・提案

Webアンケートの場合、回答結果の集計の手間が省けるというメリットがあるが、高齢者が操作方法がわからないといった理由から回収率が低くなってしまおうという懸念がある。

そこで紙媒体のアンケートを行い、スキャナで読み取ったPDFから回答結果を自動集計し閲覧することが可能なシステムを提案・構築する。

また本システムではアンケートにQRコードを付与することで、自動集計時に回答者を一意に判別することを可能とする。これによりアンケートを複数回行った場合に、回答者が毎回氏名等を記入する必要なく、特定の人物の回答のみを閲覧することが可能となる。



今後の展開

このアンケート業務支援システムは将来的に、“地域と育む未来医療人「なごやかモデル」”で運用されるシステムへの統合を目指し、アンケート業務の効率化を図る。